ソフトバンクグループの特許出願・権利化および外国出願の状況

調査報告（2026 年 11 月 1 日時点）

Perplexity

1. 要旨

- ソフトバンクグループ株式会社（SBG）は、2023 年以降に日本で生成 AI 関連の大量出願を行っています。出願公開件数は 2025 年が 10,400 件、2026 年が 22,855 件（10 月 30 日時点）で、いずれも国内 1 位です[1]。
- 一方で登録はごく一部です。2025 年 7 月〜2026 年 7 月の登録 226 件のうち 63%は、国内優先権で出し直した 971 件から生まれています。2023 年 9 月の第 1 波 8,951 件からの登録は、同時点で 0 件でした[4]。
- 外国出願は、2025 年 2〜3 月の日本出願を基礎にした米国出願から本格化しています。米国では AI 関連の公開出願数で全出願人中 1 位になりました[11]。
- 第 1 波の審査請求期限は 2026 年 9 月でした。その結果を示す公表データは、本報告の時点ではまだ確認できません（第 5 章）。

2. 国内の出願・公開の状況

指標	数値・内容
出願件数（出願年ベース）	2023 年 9,403 件、2024 年 22,265 件。2025 年の 2,050 件は未公開分が多く、確定値ではない[3]
出願公開件数（筆頭出願人）	2024 年 552 件（47 位）→ 2025 年 10,400 件（1 位）→ 2026 年 22,855 件（1 位、10 月 30 日時点）[1][2]
特許取得件数	2025 年 56 件（455 位）、2026 年 356 件（55 位、10 月 30 日時点）[1]
2026 年 4 月以降の公開分	9,464 件。代理人は酒井国際特許事務所（4,341 件）と太陽国際特許事務所（5,123 件）の 2 所[5]

2.1 大量出願の時期

公開公報を出願日別に集計すると、出願は次の時期に集中しています[4]。

区分	出願時期・件数
第 1 波	2023 年 9 月 19 日〜29 日の 9 営業日で 8,951 件（ピークは 9 月 25 日の 1,529 件）
出し直し分	2024 年 9 月 17 日〜27 日の 971 件（第 1 波を基礎に国内優先権を主張したとみられる）
第 2 波	2024 年 7 月〜11 月に約 16,000 件（例：8 月 2 日 1,292 件、8 月 16 日 1,415 件）
第 3 波	2024 年 12 月〜2025 年 1 月に 5,760 件（2024 年 12 月 18 日 1,435 件、2025 年 1 月 6 日 1,434 件を含む）

発明の名称が「システム」だけの公報が大量に並ぶのが特徴です。2026 年 7 月 16 日には 1,434 件が公開され、同日に公開された東証上場企業の出願 1,743 件の 82%を占めました[4]。

2.2 2025 年 12 月の出願急増

2025 年の日本全体の特許出願は 358,317 件で、前年比 16.8%増でした。特に 2025 年 12 月は 82,197 件と、前年同月比 168.9%増でした[6]。これを SBG による新たな大量出願とみる見方もありますが、まだ公開前のため推測にとどまります。公開されて検証できるのは 2027 年半ば頃の見込みです。

3. 審査請求と登録の状況

3.1 登録の内訳

2025 年 7 月〜2026 年 7 月に登録された 226 件を出願時期別に分けると、次のとおりです[4]。

出願時期	登録件数	構成比
2023 年 6 月まで（通常の知財活動）	39 件	17.3%
2023 年後半	2 件	0.9%
2024 年前半	16 件	7.1%
2024 年後半（出し直し分を除く）	4 件	1.8%
2024 年 9 月 17〜27 日（出し直し分）	143 件	63.3%
2025 年以降	22 件	9.7%
合計	226 件	100%

第 1 波と出し直し分を合わせた 9,922 件に対する登録は 143 件で、登録率は 1.4%です。出し直し分 971 件だけで見ると 14.7%になります[4]。別の集計では、2023 年 9 月出願の 7,780 件のう

ち登録は 3 件、2024 年出願分は早期審査で 68 件が登録済みとされています[10]。

3.2 権利化の進め方

- 選んだ案件だけを早く権利化しています。例えば特許第 7887930 号は、出し直しから約 3 か月で審査請求しました。拒絶理由通知を 2 回受け、補正を経て、出願から 21 か月で登録されています[4]。
- 登録までの期間の中央値は 17.7 か月で、トヨタの 35.6 か月、キヤノンの 49.3 か月よりかなり短くなっています[4]。早期審査を請求した案件も確認されています[7]。
- 審査請求されている案件の大半は国内優先権を主張した出願で、内容を補充してから審査に回しているとみられます[9]。
- 補正では「感情分析」などで権利範囲を絞る例が多く、登録された権利範囲は狭くなりがちです[8]。
- 多くの大量出願は審査請求前で、権利化よりも他社の権利化を防ぐ（防衛的公開）ことを優先しているとの見方もあります[7]。

4. 外国出願の状況

4.1 米国

2026 年 7 月 23 日〜10 月 15 日の 13 週で、SBG を筆頭出願人とする AI 関連の米国公開出願は 566 件でした。これは全出願人中で最多で、前年の同じ時期は 1 件だけでした[11]。

項目	内容
優先権	481 件が日本出願を基礎とし、そのうち 453 件は 2025 年 2〜3 月の日本出願
米国への出願時期	534 件が 2026 年 2〜3 月。日本出願から米国出願までの中央値は 359 日
米国仮出願	優先権主張のない 84 件のうち 79 件は、2025 年 3 月の米国仮出願を基礎とする
出願ルート	PCT 経由は 17 件のみで、大半はパリルートで米国に直接出願
発明の名称	518 件が「System」

4.2 中国・PCT

- 中国にも出願しています。例えば CN122797505A は優先日が 2025 年 3 月 19 日です[12]。US20260112288A1 は日本・米国・中国の 3 か国ファミリーです[13]。
- PCT を使った事例もあります。2024 年の PCT 出願（PCT/JP2024/029820）から米国へ継続出願した例があります[14]。

4.3 国際比較

WIPO の生成 AI 特許調査では、SBG は約 3,000 ファミリーで世界 1 位です。2 位は Tencent（2,702）、3 位は Ping An（2,240）でした。SBG のファミリーのほぼすべては 2024〜2025 年に公開されたものです[15]。ただし、日本だけで出願したファミリーも含んだ数です。

5. 第 1 波の審査請求結果

2023 年 9 月出願の第 1 波 8,951 件は、審査請求期限が出願日に応じて 2026 年 9 月 19 日〜29 日に分かれています（土日・祝日にかかる分は直後の開庁日に延びます）。期限までに審査請求しなかった出願は、取り下げたものとみなされます[16]。

- 2026 年 11 月 1 日時点で、第 1 波の審査請求の結果を示す公表データや報道は確認できませんでした。
- 特許庁の統計速報は約 2 か月遅れで公表されます（例：2026 年 1 月分は 3 月 31 日作成）[6]。この間隔だと、2026 年 9 月分の公表は 11 月下旬頃になる見込みです。
- 統計速報は特許庁全体の件数で、出願人ごとには分かれていません。ただし 2025 年 9 月の審査請求件数は 18,875 件、月平均は約 1.9 万件です[6]。第 1 波の多くに審査請求があれば、2026 年 9 月の件数ははっきり跳ね上がるはずです。
- 個々の出願で確かめるには、J-PlatPat の経過情報（審査請求の記録や、みなし取下げの表示）を見るのが確実です。

これまでの手がかりを見ると、審査請求された案件の多くは国内優先権で出し直した出願です[9]。7 月時点で第 1 波からの登録は 0 件でした[4]。このため第 1 波は、大半が審査請求されずに取り下げ扱いになった可能性が高いと考えます。ただし、これは推測で確定ではありません。

6. 今後の注目点

- 2026 年 9 月分の特許庁統計速報（11 月下旬頃）での審査請求件数の動き
- 第 2 波（2024 年 7〜11 月出願、約 1.6 万件）の審査請求期限である 2027 年 7〜11 月の動向
- 2025 年 12 月の出願急増分の公開（2027 年半ば頃）と、出願人の特定
- 2025 年春以降の出願を基礎にした米国・中国への展開の広がりと、米国での審査結果

7. 留意事項

件数は、集計の基準（出願年か公開年か、筆頭出願人のみか共同出願を含むか、データ基準日）によって情報源ごとに異なります。また、SBG の戦略についての記述は公開データからの推論で、SBG 自身は公表していません。

参考文献

[1] IP Force「ソフトバンクグループ株式会社の特許登録一覧」（ランキング更新日：2026 年 10 月 30 日） https://ipforce.jp/applicant-150698

[2] IP Force「ソフトバンクグループ株式会社の特許登録一覧 2025 年」 https://ipforce.jp/applicant-150698/2025

[3] パテント・インテグレーション「ソフトバンクグループ株式会社の特許出願動向・競合比較」（レポート更新：2026 年 10 月 30 日、データ基準日：2026 年 9 月 14 日） https://patent-i.com/report/jp/applicant/0000023/

[4] パテントレンジャー「1.4%——ソフトバンク G が AI 特許 1 万件から残したもの」note（2026 年 7 月 27 日） https://note.com/patentranger/n/nc56e3fb27b93

[5] アッシュ（某企業の知財部員）「上期のソフトバンク特許出願 分析」note（2026 年 9 月 27 日） https://note.com/zshiki/n/n7ba972d9df5a

[6] 特許庁「特許出願等統計速報（令和 7 年 8 月〜令和 8 年 1 月）」（令和 8 年 3 月 31 日作成） https://www.jpo.go.jp/resources/statistics/syutugan_toukei_sokuho/document/index/202601_sokuho.pdf

[7] 栗原潔「ソフトバンクの生成 AI 関連大量出願の現状について」Yahoo!ニュース エキスパート（2026 年 3 月） https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/af1193b3a92d7b9e7900be3234041a320d371be3

[8] 栗原潔「ソフトバンクの生成 AI 関連特許（登録済）の内容を解説する」第 6 弾 Yahoo!ニュース エキスパート（2026 年 9 月 29 日） https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/6fb5b5e0fbdf6523302fb0bafb97a32d0450b8a5

[9] 桑垣衛（オンダ国際特許事務所）「感情と生成 AI を融合させるソフトバンクの出願革命」（2026 年 4 月 8 日） https://www.ondatechno.com/jp/report/patent/patent-report/p8199/

[10] taku_sid「ソフトバンク G の特許 7780 件を全件読んで『AI アイデアの百科…』」note https://note.com/taku_sid/n/ncf0e54ae2b8b

[11] Burbage Law “SoftBank Group went from no AI-related U.S. patent publications to more than any other applicant”（2026 年 10 月 15 日） https://burbagelaw.com/data/2026-10-15-top-25-ai-patent-applicants.html

[12] PatSnap Eureka「CN122797505A – Information processing system」 https://eureka.patsnap.com/patent/CN122797505A

[13] Google Patents「US20260112288A1 – System」 https://patents.google.com/patent/US20260112288A1/en

[14] PatSnap Eureka「US20260189394A1 – Information providing apparatus, …」 https://eureka.patsnap.com/patent/US20260189394A1

[15] Kangxin “WIPO Report Shows GenAI Patent Applications Tripled in Two Years” https://en.kangxin.com/html/2/215/217/30439.html

[16] 特許庁 FAQ “Other procedures for a patent, a utility model, industrial design and trademark” https://www.jpo.go.jp/e/faq/yokuaru/procedures.html